

院長から



院長 牧野 憲一

旭川赤十字病院は救急医療・高度医療を主体としたDPC特定病院群の病院です。皆さんがこれから後期研修を行う上で大切なものは豊富な各専門領域の症例と、その症例を的確に診療し指導できる優秀な医師、医師の診療をサポートするメディカルスタッフです。そして皆さんが安心して診療を行うことができる病院のサポート体制、働き方への配慮です。旭川赤十字病院にはそれらがすべて揃っています。是非とも旭川赤十字病院で優秀な専門医になるための道を歩み出してください。

参与から

当院は道北地区における救命救急の中核としての役割を果たす病院で、多くの急性期疾患を受け入れる傍ら、各専門科領域においては難易度の高い先進的な医療も行われています。このように、地域に根ざした良質な医療を提供するとともに、社会に貢献しうる医師を育てることも大きな課題となっています。

そこで当院では、道内3大学との密な連携を組みながら、初期研修を終えた皆さんがさらに上級の「専門医」をめざして研鑽を積めるようなプログラムを作成しました。豊富な症例と整備された環境で、ぜひ私たちと一緒に専門医研修の第一歩を踏み出してください。



参与 長谷部 千登美

副院長から



副院長 小林 巖

当院は救命救急センター及び道北ドクターヘリ運航基地病院として道北の救急医療を支えています。

当院ではこれらを意識した救急専門医のプログラムを用意しております。関連施設での研修は道内に限らず、道外の第一線病院での研修も可能です。2023年度は、1名の専攻医が救急科専門研修プログラムを開始しております。

3次救急のみではなく2次救急も含めた研修を行うことで、医療過疎化と超高齢化を迎えた今の救急医療への対応力を鍛えます。総合診療医のサブスペシャリティとしても有効と考えています。いかに地域に根ざした医療を行うかを考えておられる先生方には当院の専門研修プログラムをご一考願えればと思います。

研修医から

はじめまして。旭川赤十字病院初期研修医2年目の幸高響子と申します。

当院は内科、外科その他眼科、皮膚科など幅広い診療科の専門医の先生がいらっしゃいます。

そのため当院ERに搬送される患者様の病態・疾患は多様であり、日々様々な先生にご指導いただきながらファーストタッチにあたることができます。

また、研修医はonoffの切り替えがはっきりしていてやるときはやる、遊ぶときは遊ぶとメリハリのついた研修医生活を送ることができます。まずは見学に来て、当院の雰囲気を感じてみてください。皆さんにお会いできることを楽しみにしています！

研修医 幸高 響子

